

ミ サト マチ
美里町

上田 泰弘 町長

本町は自然豊かで子育て政策も充実し、安心して住み続けることが出来る「選ばれる故郷」を目指しています。令和2年度からは「eスポーツでいい里づくり事業」への取組を開始しました。このような取り組みが、子供からお年寄りまで様々な方々に「住みたい」、「住んで良かった」と思って頂ける、一つの強みになればと思います。その他、様々な施策を通して「選ばれる故郷」の創造に向け一歩一歩前進して参ります。本町のまちづくりにご賛同いただきご助力いただければ幸いです。

寄付
御礼

- ・贈呈式開催
- ・感謝状贈呈
- ・地公体広報誌掲載
- ・HP掲載
- ・視察受入
- ・功労者表彰推薦
- ・紺綬褒章推薦
- ・その他

人口

総人口……9,164人
男……4,258人
女……4,906人
世帯数……3,542世帯

人口構成比

15歳未満……8.4%
15～64歳……44.6%
65歳以上……47.0%

面積

総面積……144.00km²
農用地……12.10km²(8.4%)
森林……104.39km²(72.5%)
宅地……3.30km²(2.2%)

教育機関

小学校……3校
中学校……2校
高等学校・高専……—
大学・専門学校他……—

産業構造

第1次産業……1,185(5.8%)
第2次産業……5,290(25.9%)
第3次産業……13,962(68.3%)
生産総額:百万円



交通アクセス

■美里町役場まで
阿蘇くまもと空港から……約30km
九州自動車道 御船ICから……約8km
松橋ICから……約14km

※データは令和3年6月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。

美里町まち・ひと・しごと創生推進事業

(SDGs)関連するゴール



特色ある選ばれる故郷づくり

基本
目標1

基幹産業を再生するとともに、安心して働けるようにする事業

農林業と商工業の支援を行うとともに、雇用を生み出すために、観光関連産業や各産業の連携促進により生まれる新たな産業の育成、外部からの企業誘致を行います。

基本
目標2

美里町へのつながりを築き、新しい人の流れをつくる

観光等による交流人口や関係人口の拡大を図ることで本町を知ってもらい、さらには本町の自然環境を生かした住環境等の多くの魅力を積極的に情報発信し、移住につなげます。

基本
目標3

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若者の結婚に繋がる環境の創出を図り、若年層の重要なライフステージを切れ目なく支援します。

基本
目標4

ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的なまちをつくる

防災の取組みや見守り体制の強化を実施するとともに、利用しやすい公共交通サービスを提供します。さらに、広域的連携により単独では解決が困難な課題に取り組みます。

重点
プロジェクト

魅力的なまちづくり

分類 まちづくり

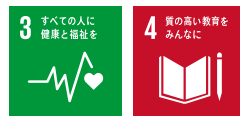
総事業費 3,956千円

寄附目標額 —

計画期間 地域再生計画の認定の日…2020年4月1日～2025年3月31日

数値目標 ●町民満足度…………… 前回より向上
●年少人口…………… 770人

〈SDGs〉関連するゴール



eスポーツでいい里づくり事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、世界中でテレワーク、リモート教育などリモート・オンライン化が進み、新しい生活様式となった今般、「eスポーツ」が盛り上がりを見せており、美里町では令和2年度から「eスポーツ」を取り入れた地域課題解決のための事業を実施しています。

「eスポーツ」は、年齢や性別・国籍・障がい等の壁を越えて、誰もが参加することができ、オンラインを活用したイベント開催や、非対面型の交流などコロナ禍においても実施できることから、高齢者と若年者、それぞれの世帯に必要な、介護予防と教育についてeスポーツを活用した取り組みや身体的ハンディキャップを持つ選手との交流を実施することで、「eスポーツ」による選ばれる地域づくりを目指しています。美里町の「eスポーツ」の取組みにご賛同ください。



世代間交流大会

重点
プロジェクト

林業の再生

分類 農林水産振興

総事業費 15,000千円

寄附目標額 —

計画期間 地域再生計画の認定の日…2020年4月1日～2025年3月31日

数値目標 ●有害獣による被害額…………… 800万円/年以下

〈SDGs〉関連するゴール



持続可能な林業と山林の再生

本町は4分の3を山林が占める中山間地域にあるものの、近年の林業の衰退により、山林の荒廃が進み、災害を引き起こしたり、有害獣の被害拡大の要因となっています。そのためにも、山林資源と林業に意欲的な人材を掘り起こし、林業による地域就業の拡大と地域林業の再生、森林への再投資につなげるため、町内の山林を活用した持続可能な山林管理と収益を上げる自立自営の林業「自伐型林業」を進めていく必要があります。美里町の森林再生にご支援をお願いします。



作業風景

課題 1 有害獣被害



ワイヤーメッシュや電柵の設置

本町は面積の約4分の3を森林が占める典型的な中山間地にあり、農業は基幹産業となっていますが、担い手の高齢化や減少と併せて有害獣被害に直面しており、農業経営が難しくなっています。有害獣の対策は毎年行っていますが、被害がなかなか減らない状況にあります。有害獣被害対策に向けた様々なアイデアやご支援をお願いします。

課題 2 遊休資産の活用

本町には学校、キャンプ場など複数の遊休資産があるものの、うまく活用できていない現状にあるため、廃校を利用したテレワーク拠点としての企業誘致やPFI等による民間資金、経営能力を活用したキャンプ場の再整備など遊休資産の有効活用方法を検討する必要があります。遊休資産の活用に向けたノウハウやアイデアをお待ちしております。



元学校の活用事例施設(元気の森かじか)

課題 3 交流人口の拡大



ダム周辺の写真

本町には複数の観光施設がある中、緑川ダム周辺にはキャンプ場やアウトドアパーク(フォレストアドベンチャー・美里)などが揃っています。このようなアクティビティ施設を中心に交流人口を創出するためにも、今後はダムを中心とした一体的な整備に取り組む必要があります。交流人口の拡大に向けた様々なアイデアやご支援をお願いします。

課題 4 美里町営水道の拡張

美里町における水道普及率は県の平均を下回っており、未普及地域では、飲用井戸等を利用している世帯が多く、大雨などの外的要因により水質へ影響を受けることから、良質な水質を確保するために未普及地域への安定供給が急務となっており、早急に整備を行う必要があります。美里町営水道の拡張にご支援をお願いします。



課題 5

将来への可能性を広げる美里町公営塾



美里町公営塾

美里町には民間の塾が少ないため町外の塾へ通う子どもが多く、本人や保護者への負担が重くのしかかっています。また、送迎による負担や経済的な理由で町外の塾へ通うことができない子どももいます。

そのような子どもや保護者への負担軽減と併せて、本町の子どもが平等に学ぶことのできる機会を提供することで、美里町の先人たちが守り続けた自然と文化を受け継ぎ、本町の未来を担う子どもたちの将来への可能性を広げるとともに、参加者一人一人の学力向上を図ることを目的として、美里町公営塾を開講しています。ぜひご支援をお願いします。

課題 6

住民生活を支える公共交通

以前は民間路線バスが町内をくまなく走っていたものの、人口減少に伴う利用者の減少により、路線の見直しや廃止が進み、現在では本町を東西に横断する国道218号線を中心に一日複数便運行するのみとなっています。集落は町内全域に点在しており、民間路線バスの運行のみでは住民の生活に支障をきたすことから、住民を誰ひとり取り残さず移動を確保するために、美里バスを運行しています。住民生活を支える公共交通にぜひご支援をお願いします。



美里バスの運行

課題 7

消防水利の確保



本町は集落が町内に広く点在しており、火事の際には住民自ら初期消火を行う事が重要であることから、消防水利の基準に基づいた防火水槽の整備が急務となっています。また、熊本地震を経験し、防火水槽の被害が多く見られることから、耐震性貯水槽の設置が必要とされています。消防水利の確保に向け、ご支援をお願いします。

課題 8

観光施設の整備

本町にはキャンプ場やアウトドアパーク(フォレストアドベンチャー・美里)、日本一の石段など、観光施設が複数あり、昨今のアウトドアブームと重なり、誘客施設として重要な施設となっています。しかし、どの施設も整備からかなりの年数を経過しており、更新や今のニーズに合った改修が必要となっています。今後の美里町の交流人口、関係人口創出のためにも施設を十分に活かせるよう適切に管理、運営していく必要があります。観光施設の整備に向け、ご支援をお願いします。



キャンプ場(美里の森ガーデンプレイス)